

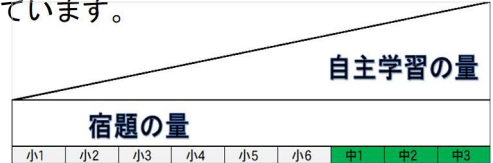
# 家庭学習の手引き(保護者用)

はじめに



小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。特に、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「計算すること」の基礎学力を伸ばしていくことが大切です。本校では、基礎学力を高めるために、様々な教育活動に取り組んでいます。家庭学習の取組もその一つです。**家庭学習には、学校から出される①「宿題」と児童が自分自身で取り組む②「自主学習」があります。**学年に応じて**自主学習の量が増えるように促していきます。**取り組む内容や時間を自主的に決めて家庭での学習習慣が定着していくことを願っています。

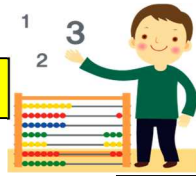
保護者の皆様には、児童と一緒にこの手引きをご覧いただき、継続できるよう励ましの声かけをお願いいたします。



## 家庭学習のよさ

進んで学ぶ習慣が身につく

学んだことを、授業や生活で活用できる



できる楽しさや学ぶ喜びを感じることができる

親子の対話も増えるよ

よい生活リズムが身につく



## 家庭を学びの環境に

### 生活習慣

- ・早寝、早起きの習慣づけ
- ・朝食は必ずとる
- ・朝の排便

### 学習環境

- ・決まった時間に学習
- ・テレビはつけない

### 家族の協力

- ・見守ってあげる
- ・励まし、アドバイス
- ・学校との連携

## 家庭学習の取り組み方



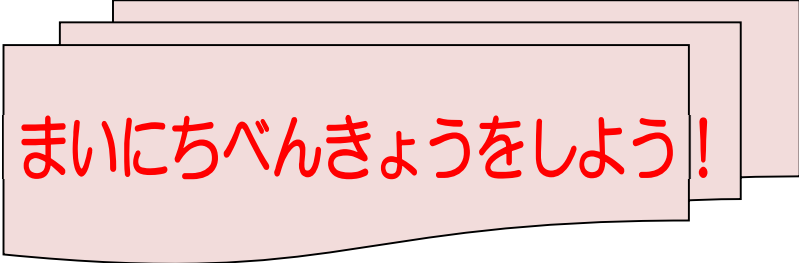
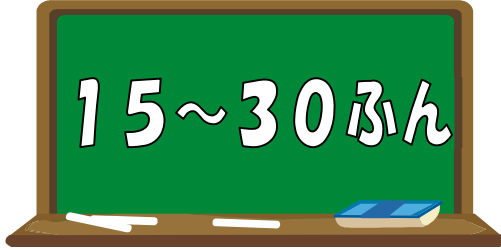
低学年(1・2年) 基本的な学習の習慣を身につける **15~30分**

中学年(3・4年) 自学の習慣を身につける **30~60分**

高学年(5・6年) 自分なりの学習スタイルを身につける **45~90分**

# かていがくしゅうのてびき(1・2年生よう)

## 1、べんきょうするじかん



## べんきょうするときのやくそく

- ◎まいにち べんきょうの じかんと きめてする。
- ◎べんきょうちゅうは テレビや ゲームの スイッチを きっておく。
- ◎べんきょうを はじめたら、たちあるかないで おわりまでやる。

## 2、すすんで やってみよう

☆はじめに、しゅくだいを しましょう。

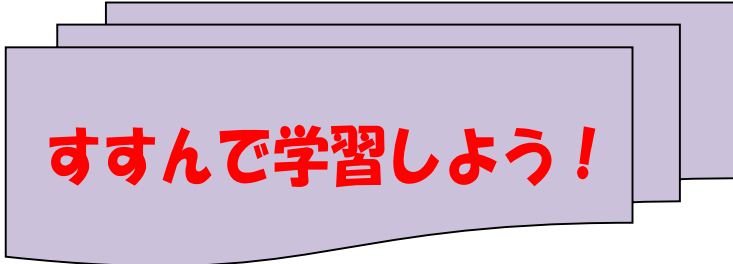
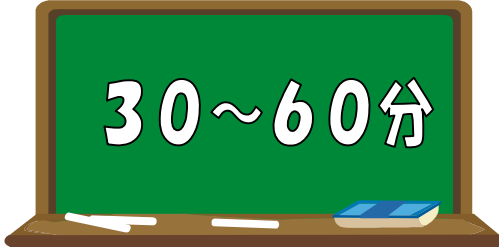
☆しゅくだいが おわったら、ほかのべんきょうを しましょう。



たとえば こんな べんきょうを やってみよう	
こくご 国語	<ul style="list-style-type: none"><li>・こえにだして きょうかしょを よむ。</li><li>・ひらがな、カタカナ、かんじを れんしゅうする。</li><li>・きょうかしょの ぶんしょうを ノートに かきうつす。</li></ul>
さんすう 算数	<ul style="list-style-type: none"><li>・けいさんの れんしゅうを なんどもやる。</li><li>・きょうかしょや ドリルのもんだいを れんしゅうする。</li></ul>
そのほか	<ul style="list-style-type: none"><li>・えにつきや につきを かく。 (たのしかったこと、うれしかったことなど)</li><li>・すきな ほんを よむ。</li><li>・けんぱんハーモニカのれんしゅうや せいかつかのいきもののかんさつをする。</li></ul>

# 家庭学習の手引き(3・4年生用)

## 1、勉強する時間



### 勉強するときのやくそく

- ◎まい日、勉強の時間を決めて取り組む。
- ◎勉強中は テレビやゲームのスイッチを切っておく。
- ◎終わるまで立ち歩いたりせずに集中して取り組む。

## 2、すすんで やってみよう

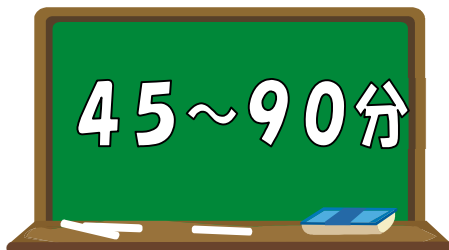
- ☆はじめに、宿題をしましょう。
- ☆その日学校で学習したことを、もう一度やってみましょう。(復習)
- ☆宿題や復習が終わったら、自分で考えて学習をしましょう。



	たとえば こんなことをしましょう
国 語	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書を声に出して読む。</li><li>・漢字の練習をする。(じゅく語や短文でも練習する)</li><li>・わからない言葉やじゅく語の意味を辞書で調べる。</li></ul>
算 数	<ul style="list-style-type: none"><li>・かけ算やわり算の問題をくりかえし練習する。</li><li>・文章問題にもちよう戦する。</li><li>・三角定規や分度器、コンパスの使い方を練習する。</li></ul>
そのほか	<ul style="list-style-type: none"><li>・日記を書く。 (楽しかったこと、心に残ったことなど)</li><li>・きょうみのある本を読む。</li><li>・音楽のリコーダーの練習や、理科・社会の学習で自然や地域の様子を調べる。</li><li>・きょうみのあることを、図かんやじてん、インターネットなどで調べる。</li></ul>

# 家庭学習の手引き(5・6年生用)

## 1、勉強する時間



自分なりの学習方法を身につけよう！

### 勉強するときのやくそく

- ◎まい日、勉強の時間を決めて取り組む。
- ◎勉強中は テレビやゲームのスイッチを切っておく。
- ◎終わるまで立ち歩いたりせずに集中して取り組む。

## 2、すすんで やってみよう

- ☆はじめに、宿題をしましょう。
- ☆宿題や復習が終わったら、自主学習をしましょう。
- ☆つぎに習うことの準備をしましょう。(予習)



	たとえば こんなことをしましょう
国語	<ul style="list-style-type: none"><li>・様子を思いうかべながら音読練習をする。</li><li>・漢字の練習をする。(じゅく語や短文でも練習する)</li><li>・わからない言葉やじゅく語の意味を辞書で調べる。</li></ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書やドリルを使ってくりかえし計算練習をする。</li><li>・文章問題を解いたり、自分で作ったりする。</li><li>・「どうしてまちがえたのか」考えてまちがえなくなるまでやり直す。</li></ul>
そのほか	<ul style="list-style-type: none"><li>・日記を書く。 (心に残ったこと、感動したことなど)</li><li>・興味をもった本の読書をする。</li><li>・理科・社会・家庭科などの大切だと思う所をノートにまとめる。</li><li>・興味のあることを図鑑や事典、インターネットなどで調べる。</li><li>・自分なりに工夫して、自分に合う学習方法を身につける。</li></ul>